

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

半生を過ごした我が家跡もなく 更地に立つて涙あふるる 古閑 本田 律子
寺迫の生家の跡に佇みて 父母在りし日の想い出辿る 広崎 松原まゆみ
震災で行くべき道のおもほえず 春霞満つ野に迷うごと 宮園 金子フム子
時告ぐるメロディー急に鳴り渡り 被災の町に重機の動く 安永 守住 孝子
根元から傾きかけた庭の桃 地震に負けず奮膨らむ 小谷 今吉マキ子
久びさに詣ずる寺の道の辺に 亡母好みし野すみれの咲く 安永 山下たか子
紅梅の咲き満つ花に集いきて 雀のおしゃべりいつまで続く 惣領 島田 廣子
単身の赴任は終わり今年から 次なる仕事老人の会 古閑 井上 誠二
幸せは最後に来たな今日も又 無是なる吾に愛降る館 惣領 小森英美子
雛壇の前で園児等お茶を点て 友に勧めて笑顔に戻る 安永 川野 光子
復興の願いを込めて撒く豆に つどう人みな声を弾ます 安永 福田 圭子

俳句

河野 全平 選

解体の庭に爛漫しだれ梅 宮園 野口志津子
阿蘇遠く中州の野焼き緑川 赤井 西山恵美子
ひともしのぐるぐる巻や春の色 小谷 今吉マキ子
菜の花やゆるゆる古稀の散歩かな 江津 高田美佐子
桃の花一輪髪に挿しにけり 柳水 山本スエ子
湧出する潮井の宮の桜かな 赤井 増岡 伸禧
更地となりだいこんの花輝けり 古閑 井上てつ子
仮設ぐらし蓋棺録や花の冷え 平田 城 陶子
辻ヶ峰に佇ちて鶯四方に聴く 田原 辻ヶ峰子
一句鑑賞 阿波野青畝
山又山 山桜又山桜 田上 富岳 選

狂句

田上 富岳 選

桃の花 飲んべえだけの花じゃない 江津 高田美佐子
桃の花 お雛様には欠かせない 広崎 松原まゆみ
桃の花 孫の髪にも飾りましょ 小谷 まさのり
桃の花 やさしく香るいぢらしさ 赤井 増岡 酔粋
桃の花 雛壇掛け軸文机 古閑 井上てつ子
桃の花 見れば見る程心晴れ 辻の城 岸良真由美
四車線 速度までもって遠出しゅう 赤井 吉村 富子
四車線 そこも私を通る道 古閑 井上 誠二
四車線 よかが移転は困るげな 宮園 井藤 吉郎
四車線 渡るつどかな青のうち 木山 今吉美英江
四車線 ついで町から市になろう 馬水 西田 正巳

狂句次号の課題「ちまき」がけ崩れ



益城の文化財
町文化財保護委員会



谷川

大楠山安養寺跡

谷川公民館から500m程、東の方へ登った所に左ノ目神社があります。その南側に隣接する谷間になった所に大楠山安養寺がありました。現在は寺域を二分するかたちで広域農道が通り、残された所は竹林となっています。竹林の中には、天文22(1553)年、永禄10(1567)年の板碑、五輪塔残欠、古い瓦等が散在しています。